



シラバス参照

タイトル「2014年度 教養科目シラバス」、フォルダ「2014年度 教養科目シラバス-2014年度「21世紀」問題群」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	21世紀サイエンス論		
担当教員	鯨坂 恒夫 満田 成紀 大浦 由美 中串 孝志		
対象学年		クラス	
講義室		開講学期	前期
曜日・時限	月 2	単位区分	
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考	全学部・全学年		
科目名 (英語表記)	The 21st Century Issues : The World and Science		
授業のねらい・概要・科目の位置付け	<p>科学が私たちの社会にどう関わっているのか（関わってきたのか）を、様々なトピックを通じて考えます。「科学」の語が入っているだけで「理系の話でしょ」と敬遠する学生が多いようですが、本科目は、むしろ社会や人、文化に興味のある（本来の意味での）文系学生にこそ大きく関わって欲しい科目です。各回にトピックを設定し、教員同士・学生同士・教員と学生との議論によって進めます（一方通行のいわゆる「講義」ではありません）。議論の行方によってはその日のテーマから離れることもあり得ます。科学的な面での、和歌山大学流の「教養」を探る科目でもあります。学部や立場を超えた議論が望まれます。</p>		
授業計画	回	内容	
	1	Introduction	
	2	歴史と科学：軍事	
	3	歴史と科学：通信	
	4	歴史と科学：医術	
	5	歴史と科学：産業革命、まとめの討論	
	6	エネルギー：石油	
	7	エネルギー：原子力	
	8	エネルギー：資源	
	9	エネルギー：人間圏	
	10	エネルギー：未来、まとめの討論	
	11	コミュニケーション：インターネット概観	
	12	コミュニケーション：携帯電話からスマートフォンへ	
	13	コミュニケーション：SNSからLINEへ	
	14	コミュニケーション：ひと	
	15	総合討論	
到達目標	科学の知識ではなく、「科学的態度」を理解する。科学的なものの見方（世界観）ができるようになる。新聞等における、科学に関する報道を他人事と思わず、批判的に読み解くことができる。		
成績評価方法	レポート（50%）だけでなく、授業への参加の度合いも考慮します（50%）。		
教科書	特に指定しない。		
参考書	授業中に適宜指示する。		

履修上の注意・メッセージ	回を重ねるにつれて、受講生の皆さん同士の議論（グループワーク）の度合いを高めていく予定です。積極的な参加、発言が求められます。
授業時間外学習	本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行ってください。さらに、授業内容に関連する課題に関する調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求めます。

